

閉会のあいさつ



財団法人力学研究所所長
九州大学名誉教授

安藤 延 男

(財)財団法人力学研究所の所長の安藤でございます。13時から17時過ぎ、正味で4時間半の時間が経過いたしました。なんだか短いような感じを覚えております。

「ものづくりと人づくり」というテーマでございますが、このパネル討議を企画するに当たってこのテーマがどのくらい現在のニーズにマッチしているだろうかということが、主催者として非常に心配したところでございます。しかしながら、九州大学の梶山総長の基調講演と、すばらしいコーディネーターと、登壇者をいただき、とても内容豊かな4時間になったというふうに思いまして、心から感謝をいたしております。今、申しましたように、本日のシンポジウムのタイトルは、「ものづくりと人づくり」となっておりますが、結局のところ、「ものづくりは人づくりである」ということに収斂してきたように感じております。そして、今日ここで、新しい希望が湧いてきました。大変ありがたい半日であったと思っております。

さて、皆さまのお手元の封筒に入っております配布資料は、一つは、今年のシンポジウムの『紀要』がございます。今日のディスカッションもまた次号の『紀要』に掲載をする予定です。おそらく今年の6月ぐらいには出来上がると思っております。ご希望の方はその頃、私どもの研究所にお問い合わせくだされば、このたびのシンポジウムの内容を盛りこんだ『紀要』をお送りできるのではないかと思います。

それから、この(財)財団法人力学研究所の趣旨と申しますか、あるいは活動内容といったことにつきましては、この『紀要』、あるいは同封しております、『ニュースレター』の中に掲げられております。

また今年、(財)財団法人力学研究所のホームページも出来ておりますから、どうかそちらの方も探索していただきたいと思っております。

そういうことで、この(財)財団法人力学研究所の活動をさらに活性化していくことが、私ども所員一同の役割であろうと思っております。尚、(財)財団法人力学研究所の役員会の構成が、今日のプログラムの裏の方に出ておりますので、どうぞこれもご高覧いただきまして、ご理解いただければ、有り難いことでございます。

来年が第23回シンポジウムになります。余程のことがない限り、平成17年度の中核事業として企画実施の予定ですので、お含みおき下されば幸いです。

本シンポジウムを後援下さった諸機関または諸団体、終始、熱心にご聴講いただきました参会者の皆さま、それからご登壇の諸先生方に対しまして、心より感謝を申し上げ、閉会の言葉にさせていただきます。

本日は、大変ありがとうございました。